

環境の都ニュース

2023.7.1 NO.116

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子



放置竹林で繋がった 出会いと学び



長岡第三中学校教諭 森山 結城

「中学2年生200人に放置竹林の整備を体験させていただけないでしょうか」突然の申し出に、「200人ですか！」と驚かれながら「なんとかしましょう」と引き受けてくださったことが全ての始まりでした。これをきっかけに、私たち長岡第三中学校の二年生の一年間にわたる「竹林整備を考え発信する学習」がスタートしたのです。

コロナ禍が始まった時小学校六年生だったこの学年の子どもたちは、様々な行事が中止かできても縮小。「学校外の世界との接触」が極めて少ない生徒たちでした。学校という小さな世界を飛び出して、外の世界に触れて欲しい。そんな思いで連絡をさせていただいたのです。

放置竹林について学び、実際に整備活動をし、その問題点を発信する。というねらいで始まったこの学習は、「みんなの想火」とつながり、全国の皆さんとつながり放置竹林について発信するイベントにも参加できました。京都駅ビルに自分たちが伐採した竹で作った竹灯りが展示されたことは「なんかすごいことをしてる！」と子どもたちに思わせるのに充分すぎる出来事でした。

この活動は学校だけでできることではなく、多くの「学校の外の大人」が関わってくださることで成立しました。体験をした子どもたちが、関わってくれた大人達に感謝したり、放置竹林について語り出したり、整備活動に積極的に参加したりは「今は」しないかもしれません。しかし、竹林で本気で子どもたちに向かい合い、語り、共に活動してくださったことはこの子どもたちの心にしっかりと根付くでしょう。また、放置竹林とは何かを知っていて、それを整備して下さっている人がいて、それがどんなに大切で大変なことを知っている子どもたちです。体験の少ないと言われる現代っ子たちがいただいた貴重な機会はきっと明るい未来につながるでしょう。

2022年6月の放置竹林整備体験で始まった活動は、3月末には残った竹を竹林に運び粉碎する作業で一旦幕を閉じました。最後の最後まで、色々な願いを聞いていただき、いつも親切に対応してくださり、生徒たちと活動することを良い機会ですと言ってくくださった環境の都づくり会議様あつての活動でした。本当に感謝しています。

9月に作った竹あかりは長岡第三中学校のフェンス越しに展示しています。不定期ですが点灯もしています。お近くにお越しの際は是非ご覧ください。



第1回西山ファミリー環境探検隊をサポート

PJT サブリーダー 古澤登美代

花や虫が
いっぱい
の西山で
聞いて、
見て、
触ってみよう

今年も西山森林整備推進協議会主催「西山ファミリー環境探検隊」が始まりました。第1回はNPO自然観察指導員京都連絡会の皆さんが講師の西山自然観察会で、当会は加藤・古澤がサポート役として参加しました。

コースは西代里山公園管理棟「西山ホテルの家」から西山キャンプ場までの往復で、途中で畑に寄りサツマイモの植え付け。昼食はカレー（材料は全員の持ち寄り）でした。カラスザンショの木（木の幹がトゲトゲ）、ヤブムラサキ（ピロードのような葉っぱ）、コウゾリナ（茎がザラザラ）、ヤブジラミ（虫に見える）、モミジイチゴ、ウリカエデ、ウノハナ、オオカマキリの卵と無数の赤ちゃん、ナナフシ、キリギリス、オオルリ、



カナヘビ、ヘビ、ホタル、サワガニ、ヌマムツなど、早春とは違う植物や生き物に出会えました。

子供がとても喜んでいてよかった。いろんな生き物に出会えた。日頃から山に来ることはなく、この道（西山キャンプ場までの山道）も初めて知った。長岡京市にこんなところがあると知れてよかった。（小2男児の父）などの感想が聞かれました。



今年の筍事情に思うこと

PJT リーダー 湯川圭造

放置竹林の整備に日ごろ汗を流している私たちにも春の恵みの筍収穫は楽しみの一つです。ところが、今年はその様子が一变しました。3月下旬、プロジェクトの年次総会を終え、ワクワクしながらメンバー揃って竹林に向かいました。初掘りにしてはこの日は例年以上に順調で、一人3～4kgの収穫があり、豊作の予感を抱きました。ところが、喜びも束の間。シーズン本番の4月に入っても管理する10ヶ所の藪のどこにも筍の姿がほとんど見当たりません。これまで経験したことがない状況を目の当たりにして、地域の子供たちや市民の皆さんが楽しみにしてきた筍掘りは開催不能に追い込まれ、がっくり。そんな中、救いの神が現れたのです！昨秋から管理を始めた竹林（最近まで掘り藪として管理された竹林）ではなんと毎日掘っても掘り切れないほどの筍が！！お陰でイベントの一部は開催に漕ぎつけ、メンバーにも喜んでもらうことが出来ました。捨てる神あれば拾う神あり。筍の季節が終わると暑い夏、残暑の秋、寒い冬と竹林整備の肉体労働が続きますが、来春の筍の豊作への期待と当会の活動に関心を寄せてくれる市民の声を活動の力にして頑張っていきたいと思えます。



日本一美味しい長岡京の筍の地産地消を広く推し進め、地球温暖化防止活動の一翼を担っていきたいものです。



水を大切に使いましょう

PJT リーダー 田原誠一郎



- ・水道の水を使うとたくさんのエネルギーも使っていることを知っていますか。
- ・日常生活で水を大切に使うように気を付けていますか。
- ・どのような方法で水を大切に使っていますか。



地球の表面の2/3は水に覆われており、大量の水があります。しかし、人間が使用できる水の量はごくわずかで、世界中で数十億人の人々が水不足の生活をしています。水を家庭で使用するために、川などの水を、たくさんのエネルギーを使用して浄化しています。使用後の排水の処理にも、多くのエネルギーが必要です。水を大切に使うことは、上下水道代などの家計の節約になるだけでなく、消費するエネルギーを少なくすることや、環境の保全につながることができます。

私たちの日常生活の中で、水を大切に使う方法の一部を紹介します。



家庭での水の使用量を減らす方法の例

風呂で	お湯の張りすぎに注意する。 シャワーは節水型を使う。
キッチンで	洗い物の汚れはあらかじめ拭き取っておく。
洗面台で	洗顔や手洗いの時は、使用するときだけにだけ水を出す。
トイレで	水洗トイレの大小レバーを使い分ける。

SDGs のリミットまであと 7 年。2015 年に国連で採択されてから今は中間地点。SDGs には 17 の目標と 169 のターゲットがありますが、大きく分けると次の 5 つになります。

- 5つの決意**
- ①人間を守る
 - ②繁栄を実現する
 - ③平和を実現する
 - ④パートナーシップで実現する
 - ⑤地球を守る

さあ、みなさんは日頃これらの中の一つでもいいので意識して生活されていますでしょうか？

私自身は環境保護に興味があり、最近特に海洋ゴミ (SDGs 14) が気になっています。2、3 年程前、経ヶ岬に行き、遠目に見ればとても綺麗な海景。しかし、海岸に降りてみるととんでもない

海洋ゴミ、プラスチックの山と化していました。「これはいかん！」と思い早速京都府庁へ相談に行ったところ、国、地方自治体 (都道府県、市町村)、更にそのエリアの人口密度によって行政管轄

区域が異なり (管轄エリアを色分けした海岸図あり) 難色を示されましたが、数ヶ月後に経ヶ岬に行ってみると、物の見事にそれらは一掃されていました。恐らく、府庁の土木課 (担当課) が働き掛けてくださったのだと思います。その時に思ったのは、一人では手に負えない大きな環境ダメージでも、放置せずに何らかの行動をとることの大切さです。些細なことでもいいので、SDGs を意識して行動し、私たちの生活、地球を守っていきましょう！



海洋ゴミが散乱する海岸



ゴミ回収後の海岸

ビオトープ PJT

長岡第十小学校3年生が竹林体験に来てくれました！

PJT リーダー 神山 忠



旬シーズン真っ盛りの 4 月 20 日、学校からの依頼を受け、3 年生 45 名の竹林体験学習会を光明寺近くの竹林で開催致しました。地域の竹林の現状や竹や筍の事を知り、筍掘りを体験することで環境保全へのそれぞれの関わり方を考える機会にすることを目的に、校長先生、学級担任 (2 名)、栄養教諭の同行のもと 1 時間余りに亘り、竹林のことを考え、汗を流して頂きました。近隣の竹藪の現状や竹が増えすぎることの影響などを学んだあと、グループに分かれて筍掘りやノコギリを使った竹伐りも体験して、作業の大変さと楽しさを実感して頂きました。竹の玩具なども沢山展示し、竹が色々なものに使われていることも学んでもらいました。特に“弓矢”は人気があって、“やりたい！やりたい！”

の声に嬉しくなりました。大半の児童が初めての体験で、すべてが新鮮に映ったようでした。

私どもも子供たちのきらきらした表情や元気な声に明日への勇気と力を頂きました。

来年以降も継続実施をお考えのようで、我々も精一杯お応えしたいと思っています。



花を咲かそう PJT

関心を寄せられて励みになる

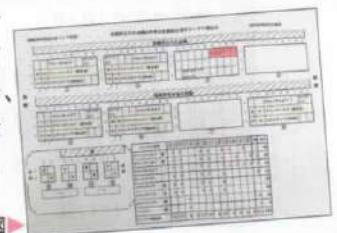
PJT メンバー 奥西弘武



台風 2 号で 2 日延期した 6 月 4 日に体育館と公民館花壇の花の植え替えを行いました。どちらの花壇も一部の奇抜なメンバーが事前に古株を抜き、土慣らしをしてくれていました。2 か所の施設を 2 チームに分けてやるほどではないが、それぞれのリーダーには技量と特色があり、うまくかみ合っている。後日、文化センター関係者から公民館花壇の植え込みを見て“レイアウト図を見せてほしい”との依頼がありました。自負できる完璧な計画書であり、さっそくコピーを提供しました。また、花が枯れかかっているよ

と声をかけてくれる方もあり、“見てくれているんだ！”との思いを強くしました。これから 10 月までの長丁場、みんなで水遣りを頑張らねば・・・

コンテナ植え込みレイアウト図



ひろみ社会保険労務士事務所

代表 木和 宏美

Hiromi Kiwa



〒617-0005
京都府向日市向日町南山28サンクリーンハイツ205
090-3490-3550 hiromi-810@outlook.jp

不動産売買・賃貸・仲介・管理

「心こそ大切」信頼の

渡辺住販

代表者 渡辺 久司



京都府知事 (10) 7212 号
〒617-0814 京都府長岡京市今里蓮ヶ系 42-5
Tel. 075(953)2717 Fax. 075(954)7912



奄美大島宇検村の焼内湾と湯湾集落。山から海までの距離が近い、典型的なリアス海岸の地形。

World Ocean Day 世界海洋デー

毎年6月は「環境月間」で、6月5日は「世界環境の日」とされているのはご存知の方も多いと思いますが、更に6月8日は、『世界海洋デー』（World Ocean Day）だそうです。

2008年に国連総会で制定され、『海や海と人とのつながりに思いを馳せ、海の大切さについて考える日』とされています。

2022年12月に「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択され、生物多様性の分野で世界が目指す方向性が決まりました。

その中で、2030年ミッションとして、生物多様性の損失を食い止め回復軌道に乗せること（ネイチャーポジティブ）が合意されました。

どこの国の河川も最後は海に流れつき、その海は全て繋がっています。

日本自然保護協会（NACS-J）の海の活動も、2030年日本の沿岸域のネイチャーポジティブ実現を目指して活動しているようですが、我々も“ネイチャーポジティブ（nature positive）”に関心を持ち、行動して行きませんか！

（文責：江川宗治）

できたよ！自家製野菜
無農薬だよ当然だよね



ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越 聡

2023年環境年間行事日程 直近版（7月～9月）

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ピオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ（地球温暖化防止等）	こここCOライブ、等
7	環都ニュース発行（7/1） 環都月例会（7/11）	森林ボランティア（7/2） 森林ボランティア（7/16）		竹林整備活動（7/3,9,17,23,31） 公立保育園七夕笹提供（7/4） 3PJT 合同例会（7/16）	体育館、公民館花壇水遣り（毎週/日、木曜）	「環境の都ニュース」で広報	環境の都ニュースに記事掲載（7/1）
8	環都月例会（8/8） 打ち水大作戦（8/ 上旬）	安全勉強会（8/6） 森林ボランティア（8/20） 西山F環境探検隊（8/26）		竹林整備活動 夏季中止 いけだ花壇火真竹提供（8/ 下旬） 3PJT 合同例会（8/20）	体育館、公民館花壇水遣り（毎週/日、木曜）		
9	環都月例会（9/12）	森林ボランティア（9/3） 森林ボランティア（9/17）	すくすく教室「遊び」（9/9長四小）	竹林整備活動（9/4,10,18,24） 3PJT 合同例会（9/17）	体育館、公民館花壇水遣り（毎週/日、木曜）	エコ PJTMe	SDGs 交流会（9/24） 市民大学（9/28）

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel.080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円（一口以上）

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容写真などがあります。



編集後記

環境保全活動に学校・子どもたちが関わってくれることは、我々の活動の希望です。持続可能性を実感させてくれます。また、地域の方々には楽しく環境への関心を持っていただき、省エネ、ゴミ減量など身近な活動を通じて、地球温暖化防止に繋がるような工夫をしていきたいと思っております。（西村日出男）